

# 紫の湯

murasaki-no-yu

成年  
同人誌





何だ知らないのかリン

ここは銭湯と  
いうのだぞ

いえ、その  
わたしが申したいのは  
そうではなくて…



紫様をこのような  
一般庶民が集う不衛生な  
場へ連れて来るとは

いや、その  
五月雨荘の方が  
よっぽど不衛生じゃ…

いったいどうい  
う神経をしているのだ  
紅真九郎!

な…んだと?

ここは…いったい…





このところの  
紫様といえは  
ヒマさえあれば紅に  
べつたりではないか

あれでは  
二人はまるで…



ですがそれでは  
護衛としての役目が…

リンも女湯の方で  
汗を流して  
くると良い



真九郎と一緒にいるのだ  
これ以上心強い事はない

それが一番  
心配なのです



命令だ！  
わたしたちに  
ついてくるな

リンは隣りの  
女湯に入ってきて来い  
ゆっくりな！



それでしたら  
わたしは男湯の  
脱衣所まで  
ご同行致します

そこで待機して  
いますので何か  
あればすぐにでも…



はい！

リン



そうだな  
紫とここに来るのも  
久しぶり…



良いではないか  
たまにしか真九郎と  
こうして一緒に風呂へ  
行けぬのだから

リンにも困ったものだな  
四六時中あれではないかげん  
疲れてしまうぞ

まったく…



ふはまっ



あのなあ  
横着していつべんに  
脱ごうとするから  
引掛かるんだよ

あと髪も  
束ねたままだろ

んしょっ

んっ



…何やってんだ？

…脱げん  
すまぬ真九郎  
脱がしてくれ



そうではない

どうだ真九郎

何が「どうだ」だよ  
服脱ぐの手伝って  
もらっておいで

わたしの裸を見るのも  
久しぶりであろう

どうだ？  
しばらく見ぬ間に  
成長したと思わぬか？

…いや…  
全く変わってないな

…うむ

どうやらその顔はウソを  
ついてないようだな

しかしウソをつかれないのは  
嬉しいが本当の事を言われると  
何故かこう納得がいかな

わたしは早く真九郎が  
好むような  
なりすばいで…  
なりたいのだが…

…!?

ブリ





はい☆  
うすいちーっ♡

えっ!!

ぽ  
ぽ  
ぽ



いや、わたしは  
お役目の途中で…

ん?



ソレ持って  
お風呂入るの?

アハハハ  
持って来けど

こ、これは剣士の  
命であつて…



はいはい  
こんな物騒なモノは  
あつちに放つといて

えっあれ?  
コラッ  
何を…



ほらほら  
お洋服も脱ぎ脱ぎ  
しましよーねー♪

おい、待…  
やめっコラ…

なっ?





…まあ

気のせいだよな

真九郎

どうした？



…なんか今  
リンさんの悲鳴？  
が聞こえたような…

そうか？



いや、でも  
リンさんに何されるか

体を洗うくらい  
問題なからう

そうは  
いかないだろ…



体を洗ってくれぬか

ぱらぱら

は？  
自分でできるだろ

うむ  
だが今日は真九郎に  
して欲しいのだ



そうか  
わかった



なかなか  
良い感じだぞ  
真九郎

そりやどうも

ではそのまま  
前の方を洗ってくれ

いや、そこは自分で…

洗ってくれるのだから？

わかったよ  
やればいいんだろ



ならば他の客の  
誰かに頼むとしよう

わーっ待って待って  
わかった！  
俺がやるよ！



そうか！  
では頼むぞ

あ

タオルとか使わないで  
手で洗ってくれ

はいはい…



こうか？

そう…

ゴ  
し  
ゃ

こ、これはなかなか…  
くすぐったいな

だから自分で  
洗えって言ったる

す、すまんっ  
続けてくれ



そらっ

もういいだろ？  
じゅうぶん洗えたし

ドキ  
ドキ

まだだぞ

え？



しかし紫の体って  
柔らかいよな...

癒されるっていうか  
かの加減がむずかしいな

何かこう、いつまでも  
触っていたいような...



ココがまだだぞ  
手を休めるでない

へ？

ココはとくに念入りに  
優しく頼むぞ真九郎

さすがにソコはマスイだろ

なぜだ？  
ココもわたしの  
体だぞ

いや、そうなんだけど...

あーもうっわかったよ





武藤環！  
貴様はどこまでも  
ふざけおって…

おっ！

おおーっ！

改めて  
思うけど  
リンさんって  
さー

やっぱり美人  
だよねー

え？

そうやって髪おろしてる姿は  
どっかのご令嬢っていうか  
まるでお姫様だね☆

えっ  
えっ  
えっ



えっ？

こんなの見せられたらどんな  
男だってコロっとイツちやうよー？

お、男おっ？

スタイルもいいし  
なんがいろいろ  
もったいないなく



わっわたしに  
男など…

だっわたしは…  
九鳳院近衛隊所属で階級は第八位で  
三月三日生まれの十九歳でそれから  
それからスリーサイズは上から  
76・51・80だから  
えーっと、えーっと…

つまりだな  
えっと、その…

うん  
なんかごめんね  
リンさん

テンパをせよったね

わたしが体で払うからー♡

それじゃあ  
お詫びに…

じゅえっ

…やっぱり  
リンさんの声だなあれ

わ~~~~っ

とりゃっ

う…うむ…だが大丈夫だ  
リンも初めて銭湯に来て  
はしゃいでおるのであろう



それより何をしておる  
手が動いてないぞ真九郎

紫...もういいだろ?

その...あんまり  
長いといいかげん  
周りの人が  
怪しむからさ

何を怪しむのだ?

だいや、それはその  
だつてさ...



では次はわたしが  
真九郎を洗つて  
やるぞ!

俺はいいよ  
もう自分で洗つたし



何を言う  
わたしはしっかり  
見ていたのだぞ?

え?



ココをまだ洗って  
おらぬではないか

なに心配するな  
優しく洗うように  
心掛けるのでな

お、おい紫も  
たぶりつけて

お、おい紫？

は？

バカッおい  
やめ…

モウモウ

全てわたしに任せろ









あー...

あー... 許さぬわ武器...

んっ

これ以上の辱めは  
耐え忍び難き...  
武士の情けを...

やめないもんねー

わたしフシじゃ  
ないし...



アホか貴様!  
そんな事言えるわけ...

えー  
言えないのー?  
じゃあ...

あーわわわわわ  
わ、わかった!  
言う! 言う!



他にお客さんいないん  
だからもつと声に出して  
自分の気持ちを出して  
吐き出しちやいなよ

例えば...

はあ!?

とかさ



でもお

リンさんが  
素直になつたら  
やめてあげても  
いいかなー?

はあ

す... なぎ...

よーしわかった！もつと  
エッチにさせてあげるよーっ♡

なっ？オイ貴様  
話が違うぞ！

えー？だって  
あんなエロいリンさん  
見たら襲いたく  
なっちゃったんだもーん♡

この下畜生め…

わた…しいの  
い…やらしい  
お…おま…

おまん…

もつとイジって  
え、えっちにさせて  
くださいっ！





でもな真九郎

わたしも真九郎に  
ココを触ってもらった時  
くすぐったくもあつたが

実はすごく  
きもちよかつたんだぞ

これはきつと  
相思相愛の証だな!

そこで考えたのだが

真九郎のソコとわたしの  
ココのきもちいとこ同士で  
触れ合えばお互いさらに  
きもちよくなれると思うのだ

えっと...そう...かな?

どうだ?

.....

いや...ダメだって紫  
さすがにそれはマズいし  
俺だってそんなに...

ウソだな

いー

では早速試してみよう

お、おいつ紫…

きもちいいのだな？  
真九郎…

あ…ああ…

これでどうだ？

わたしも…さつきと同じ  
いや、それ以上にいいかもしれん

柔らかい…

おつまた大きく  
なってきたぞ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

おっ  
おっ  
おっ





また出そうか？  
出していいのだぞ



紫：

もう上がろう

しかしわたしはまだ  
真九郎にきもちよくなって  
欲しいのだ

わたしは大丈夫だ  
続けよう真九郎



それなら：

あれ？  
いつの間にか誰も  
いなくなってる：



紫：おまえ  
湯あたりしてないか？

む？そうなのか？  
「ゆあたり」とは何だ？



エンリヨするな真九郎  
思いつきり出して  
良いのだぞ

そんなに急かすなよ  
さっき出したばっかで  
すぐには：

！





動くぞ紫  
しつかり掴まってろ

う、うむっ

ひゃあ、



お  
おおっ

これはすごいな

真九郎とわたしのアソコが  
触れ合っているのが  
よく見えるぞ

ぞくぞく...

はあっ

はあっ

これは…

まるでわたしに  
オチンチンが生えた  
ようだな 真九郎

しんくろっ…  
きまさいっ…

はあっ  
はあっ  
はあっ

はあっ

次はもっと動くぞ 紫

はあっ  
はあっ  
はあっ

紫、そのまま  
足を閉じて

今度は  
どうするのだ？

こうか？





あー

大丈夫か？紫

へいきだ…むしろ  
きもちいい…♡

ん…ん…あ…  
あ…あ…あ…

あ…あ…あ…

♡♡♡

♡♡♡

あ…あ…？

わんくろ…う  
わたしのアソコが…

あ…れ？  
アソコが…なんか  
ジンジンする

ダメ…わんくろ  
オシッコもわんくろ

あ…あ…あ…

♡♡♡





あとで掃除すればいい…

大丈夫だよ紫

真九郎お…  
嫌いなならないで…



へ？

—と、しおらしい女に  
男はよろめくの难道？



真九郎

あ、あのなあお前  
人をからかうのも…



ふん



ふん

あわわわ

こ…こんなこうきょうのばで  
オシッコもらしちやっ…た

はしたないのに  
とまらない…

あわわわわわ



残念だが今日はとこもでだ

あまり遅いと心配をかけてしまうしな

紫…

だが次は  
いっぱいキスをしよう

いっぱいきもち  
いいことをしよう

約束だぞ真九郎

わたしはもっと頑張つて  
もっと真九郎をきもちよく  
させてみせるぞ!

そうと決まれば早速  
環に相談するか!

それは  
やめてくれ



その前に  
環には礼を  
言つておかねばな

え? 何で?



ごめんリンさん

やりすぎた

おわり。



真九郎くん、野獣に  
なっちゃったりして  
ないかなー?

やりすぎてなきやいいけど



崩月 夕乃 (5年前)





奥付

「紫の湯」

発行 珍譜堂  
著者 ㊦  
印刷 PICO 様  
発行日 初版 2011. 8. 14  
2版 2011. 12. 31  
連絡先 <http://www.axs-smf.net/chinpu-do/>  
E-mail 0083.sdm@jcom.home.ne.jp



※無断の転載、複製などの行為やシャレにならない事はやめてねって、ウチのキングが言っていました。それとこの本は18歳未満の方は購読禁止です。

# kure-nai FANBOOK FOR ADULT ONLY

2011 CHINPUDO  
by MARUI

